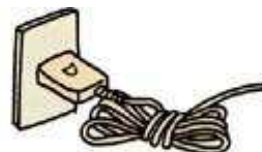


# 電気火災を予防するポイント

## 電気コードを束ねない

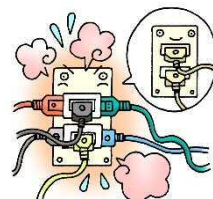
電気コードを束ねたままや、じゅうたん等の下にコードを這わせた状態で使用すると、コードの放熱が出来なくなり、過熱して出火する恐れがあります。



コードをたばねない

## タコ足配線をしない

コンセントや延長コードには定格容量が決まっています。タコ足配線などにより、一度に多くの電気機器を使用し続けると、定格を超えた過電流が流れ、発熱して出火する恐れがあります。



## 傷んだコードを使わない（コードを傷めない）

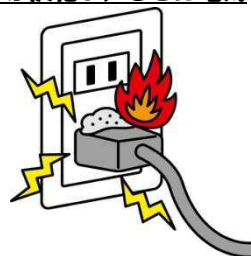
コードや配線が引っ張られたり、折れたり、踏まれたり、挟まれたりすることにより、配線の一部が切れ、半断線状態になり、その部分が発熱し出火する恐れがあります。



## コンセントのホコリはこまめに掃除

プラグをコンセントに差し込んだ状態で、ホコリや湿気が溜まったまま放置しておくと、トラッキング現象（※1）が起こり、出火する恐れがあります。

※1 トラッキング現象とは、プラグとコンセントの間に溜まったホコリに湿気や水気がかかると、小さな火花放電が繰り返され、絶縁物（プラグやコンセントのプラスチック部分）が炭化し、そこに電気の通り道（トラック）ができて大電流が流れ、出火してしまう現象のこと。



## 素人工事はしない

素人による配線工事は絶対にやめましょう。配線の接続不良や誤接続により出火する恐れがあります。



## 電気器具はこまめに点検しましょう

上記の点に注意し、電気器具は定期的な点検をするように心掛けましょう。ちょっとした異常や異変が起きたらすぐに使用を中止し、買い替えや業者へ点検に出すことをお勧めします。

万が一、電気器具等から出火した場合は、コンセントを抜き、フレーカーを落とし、粉末消火器等で消火してください。消防署への通報も忘れずに！！